

1 つぎの もんだいに こたえましょう。

(1) まえから 3ばんめを ○で かこみましょう。

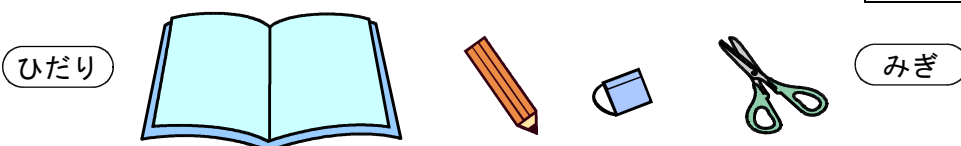


(2) みぎから 4こまで ○で かこみましょう。



(3) えんぴつは みぎから なんばんめでしょう。

ばんめ



2 あわせて 6に なるように せんで つなぎましょう。

<input type="text"/>	•	<input type="text"/>
<input type="text"/>	•	<input type="text"/>
<input type="text"/>	•	<input type="text"/>

※つぎのページにも、もんだいがあります。

3 つぎの もんだいに こたえましょう。

(1) ちゅうしゃじょうに くるまが 5だい とまっています。
2だい くと、ぜんぶで なんだいに なるでしょうか。
したの 【ず】を つかって かんがえ、
しきと こたえを かきましょう。

【ず】 ●●●●● ●●

しき

こたえ

(2) ももいろの はなが 4ほん さいて います。
みずいろの はなが 6ほん さいて います。
はなは ぜんぶで なんぼん さいて いますか。
したの 【ず】を つかって かんがえ、
しきと こたえを かきましょう。

【ず】 ●●●● ●●●●●●

しき

こたえ

1

つぎの計算をひっ算でしましょう。

(1) $64 - 12$

(2) $36 - 16$

(3) $82 - 50$

(4) $70 - 33$

2

つぎのひっ算で正しいものをすべてえらび、ばんごうをかきましょう。

①

$$\begin{array}{r} 47 \\ -28 \\ \hline 19 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 52 \\ -16 \\ \hline 46 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 83 \\ -45 \\ \hline 38 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 43 \\ -20 \\ \hline 27 \end{array}$$


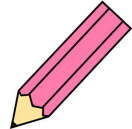

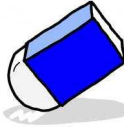

3

15 + 32のしきになるもんだいをつくりましょう。
(しき、こたえはかかなくてもいいです。)

※つぎのページにももんだいがあります。

4

ぶんぼうぐの数^{かず}をあらわしたグラフがあります。
えんぴつとけしごおでは、どちらが何^{なん}こ^{おお}多いですか。

	○			
	○			
	○			
	○		○	
	○	○	○	
○	○	○	○	
○	○	○	○	○
				
はさみ	えんぴつ	じょうぎ	けしごお	ノート

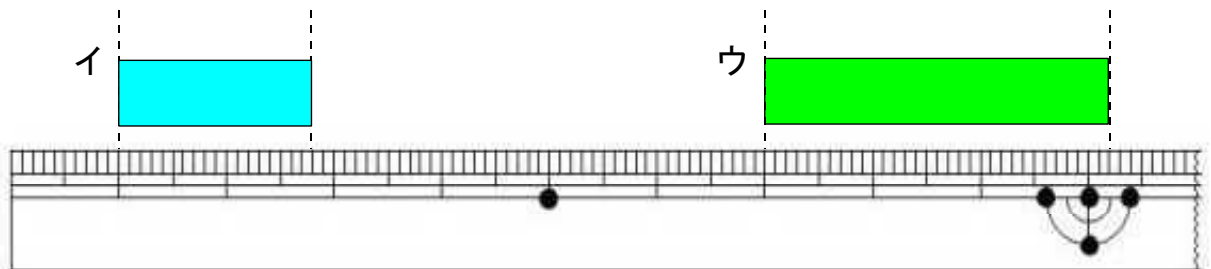
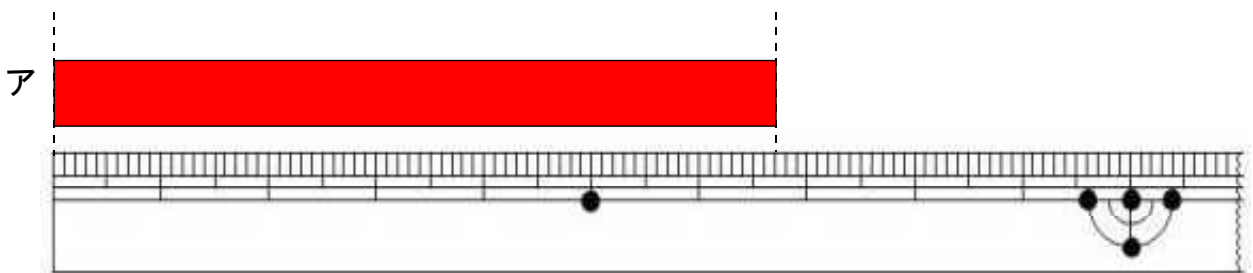
こたえ

が

こ^{おお}多い。

5

アからウのテープの長さ^{なが}は、それぞれ何^{なん}cm何^{なん}mmでしょう。



ア

イ

ウ

1 次の□に当てはまる数を書きましょう。

(1) $3 \times \square = 12$

(2) $3 \times 4 = 3 \times 5 - \square$

(3) $3 \times \square = 3 \times 8 + 3$

(4) $9 \times \square = 9 \times 7 - 9$

2 次の計算を筆算でしましょう。

(1) $507 - 86$

(2) $2423 - 495$

3 たけしさんは、210円のお菓子を買に行きます。家の人から500円玉を1まいと10円玉を1まいわたされました。500円あれば足りるのに、どうして家の人から510円をわたしたのか、たけしさんは、次のように考えました。



500円玉1まいではらうと、 $500 - 210 = 290$ で、おつりは290円です。
510円をはらうと、おつりは10円多くなるので、(①)円になります。
だから、家的人是、おつりのこうかの(②)がいちばん少なくなるようにしてくれたのだと思います。

(1) ①にあてはまる数を書きましょう。

(2) ②にあてはまるものを、次のアからウまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

- ア まい数と金がかく
- イ しゅるいと金がかく
- ウ まい数としゅるい

※ 次のページにも、もんだいがあります。

4

ゆみさんは、 $152 - 43$ の計算を次のように筆算でしました。
ゆみさんの計算のまちがいを、言葉と数を使って説明しましょう。
また、正しい筆算をしましょう。

ゆみさんの筆算

$$\begin{array}{r}
 152 \\
 - 43 \\
 \hline
 119
 \end{array}$$

まちがいの説明

正しい筆算

5

次の問題に答えましょう。

(1) 答えを求める式が $8 \div 2$ になるものをアからオまでの中からすべてえらび、記号を書きましょう。

ア 1ふくろ8こ入りのあめが2ふくろあります。あめは全部で何こありますか。

イ りんごが8こあります。一人に2こずつ分けると、何人に分けられますか。

ウ クッキーが8まいあります。2まい食べると、のこりは何まいですか。

エ 8人の子どもにチョコレートを2こずつくばります。チョコレートは何こいらいますか。

オ 8人を同じ人数ずつ2つのチームに分けます。1チームは何人になりますか。

(2) $12 \div 3$ の式になる問題をつくりましょう。
(式、答えは必要ありません。)

1 次の問題に答えましょう。

(1) 254まいの色紙があります。

3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになって、何まいあまるでしょうか。

式

答え

1人分は まいになって、 まいあまる。

(2) 太郎さんは、 $627 \div 3$ の筆算を、次のように計算し、そのことを説明しました。□に当てはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 209 \\ 3 \overline{)627} \\ \underline{6} \\ 27 \\ \underline{27} \\ 0 \end{array}$$

【太郎さんの筆算の仕方】

太郎さんの説明

まず、わられる数の百の位の6をわる数の□でわります。

$6 \div 3 = \square$ なので、百の位に□をたてます。

次に、わられる数の十の位の□をおろします。

$2 \div 3$ はできないので、十の位に□をたてます。

そして、わられる数の一の位の□をおろします。

□ $\div 3 = 9$ なので、一の位に9をたてます。

わる数の3とたてた9をかけて27になります。

さいごに、□から27をひくと0になります。

だから、商は□です。

(すべてできて正解)

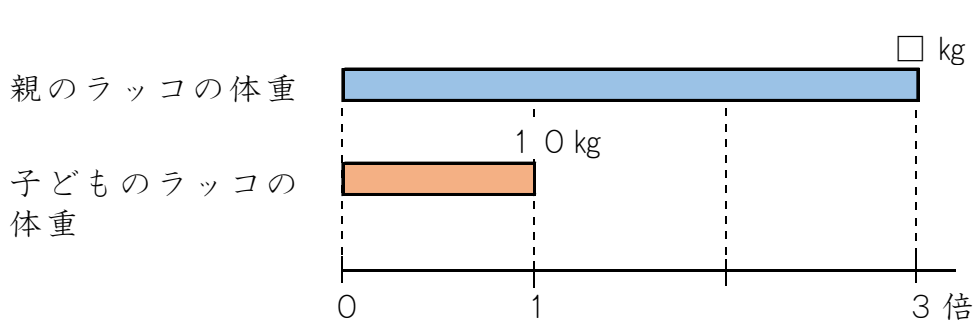
※次のページにも、問題があります。

2 ケーキのねだんは315円です。このケーキのねだんは、クッキーのねだんの3倍です。クッキーのねだんは何円ですか。式と答えを書きましょう。

式

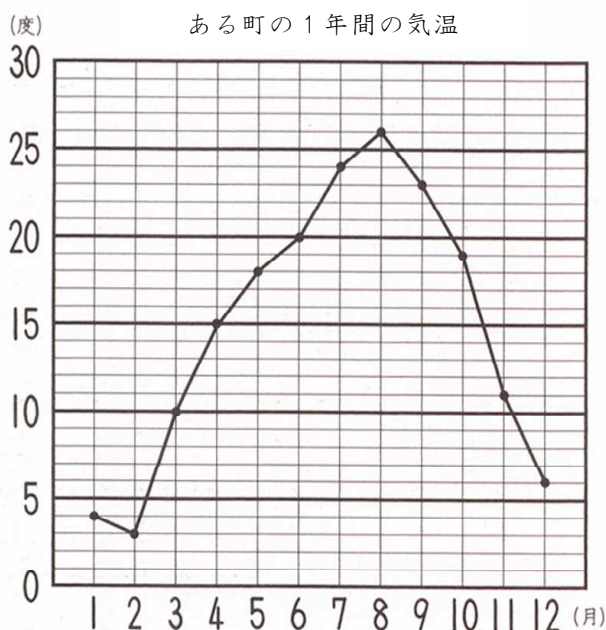
答え

3 下の図の説明として正しくない文を1から4までの中から1つ選び、番号を書きましょう。



- 1 子どものラッコの体重は10 kgです。
- 2 子どものラッコの体重は、親のラッコの体重の3倍です。
- 3 親のラッコの体重と子どものラッコの体重をくらべています。
- 4 親のラッコの体重はわからないので、□ kgとしています。

4 下の折れ線グラフは、ある町の1年間の気温を調べたものです。次の問題に答えましょう。

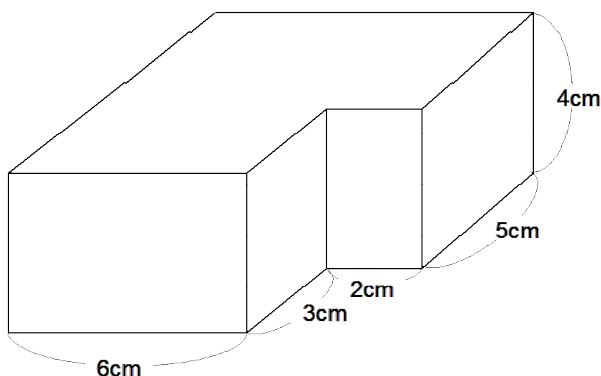


(1) 気温の上がり方が一番大きいのは、何月から何月までの間ですか。

(2) 気温が一番高いときと一番低いときの差は、何度ですか。

1 3.6 mで108円のひもがあります。このひも1 mのねだんを求めましょう。

2 次の立体の体積を求める式を2通りつくりましょう。
（答えは求めなくていいです。）



3 ÷ 0.7の商の大きさについて考えます。には0でない数が入ります。下の1から3までの中から、正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

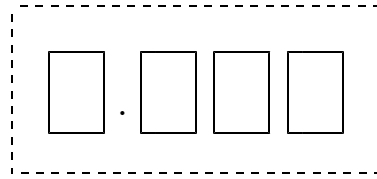
1 ÷ 0.7の商は、と同じになる。

2 ÷ 0.7の商は、より小さくなる。

3 ÷ 0.7の商は、より大きくなる。

※次のページにも、問題があります。

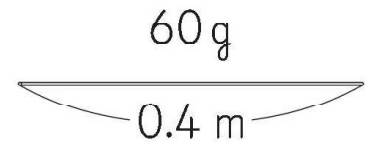
4 1、4、5、9のカードを1まいずつ使い、下の□にあてはめて小数をつくりまします。



(1) つくれる数のうち、いちばん大きい数をつくりまします。

(2) つくれる数のうち、5にいちばん近い数をつくりまします。

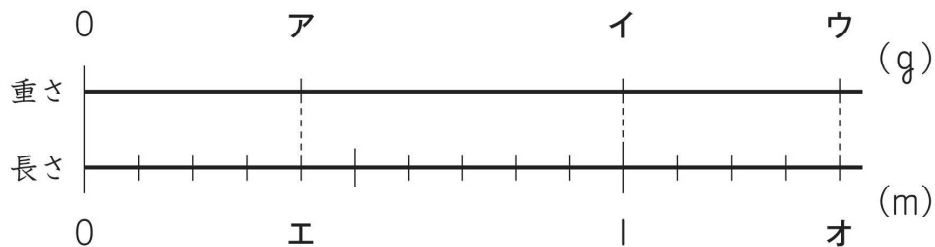
5 0.4 mの重さが60 gの針金はりかねがあります。この針金について、次の問題に答えまします。



(1) 針金 1 mの重さが何 gになるかを考えまします。

1 mの重さを□ gとして、針金の長さ長さと重さ重さの関係を下の図に表しまします。針金 0.4 mの「0.4」、0.4 mの重さ 60 gの「60」、1 mの重さ□ gの「□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きまします。



0.4 の場所	60 の場所	□ の場所
---------	--------	-------

(0.4、60、□のすべてできて正解)

(2) 針金 1 mの重さを求める式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きまします。

- 1 $60 + 0.6$ 2 60×0.4
 3 $60 \div 0.4$ 4 $0.4 \div 60$

1

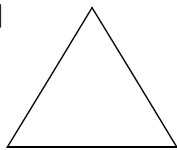
2 から 7 までのカードが 2 枚ずつあります。カードを次の□にあてはめて、答えを 2 にするには、どのような分数のかけ算の式が考えられますか。式を 1 つ書きましょう。

$$\frac{\square}{\square} \times \frac{\square}{\square} = 2$$

2

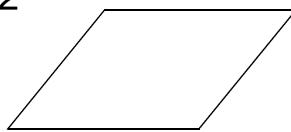
下の 1 から 4 までの図形について、次の問題に答えましょう。

1



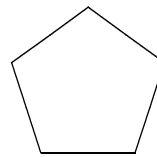
正三角形

2



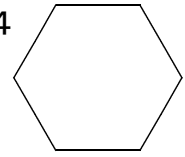
平行四辺形

3



正五角形

4



正六角形

(1) せんたいしょう線対称な図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

(2) てんたいしょう点対称な図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

3

次の問題に答えましょう。

(1) 色紙が 8 たばと 3 枚あります。1 たばの数を x 枚、全部の枚数を y 枚として、全部の枚数を表す式を書きましょう。

(2) 次の①、②の式に表される場面を下の **ア** から **エ** までの中から選んで、記号を書きましょう。

① $36 - x = y$

② $36 \div x = y$

ア x ページの本があります。36 ページ読んだときの残りは y ページです。

イ 面積が 36 cm^2 の平行四辺形があります。底辺が $x \text{ cm}$ のとき、高さは $y \text{ cm}$ です。

ウ 男子が x 人、女子が y 人の学級の合計は 36 人です。

エ x 個のあめを 36 人で等分したら、一人分は y 個でした。

※次のページにも、問題があります。

4 $\frac{2}{3} \times \frac{1}{5}$ の計算の仕方を、次のように説明しました。

【説明】

かける数を整数にして考えました。まず、かける数を整数にするために、 $\frac{1}{5}$ を5倍しました。次に、かっこの中を計算すると、

$$\frac{1}{5} \times 5 = 1 \text{ なので、} \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \text{ となります。}$$

このままでは、積も5倍になるので、積を5でわって、 $\frac{2}{3} \div 5 = \frac{2}{15}$ となります。だから、答えは $\frac{2}{15}$ です。

この説明に合う考え方を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

【考え方】

ア

$$\begin{array}{r} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \div 5 \\ \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \div 5 \end{array} \right\}$$

イ

$$\begin{array}{r} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \\ \downarrow \times 5 \quad \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \times 5 \end{array}$$

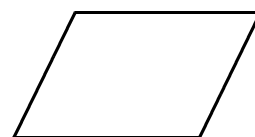
ウ

$$\begin{array}{r} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \div 5 \\ \downarrow \times 5 \quad \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \times 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \div 5 \end{array} \right\}$$

エ

$$\begin{array}{r} \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = \frac{2}{3} \\ \downarrow \times 5 \\ \frac{2}{3} \times \left(\frac{1}{5} \times 5 \right) = \frac{2}{3} \div 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \leftarrow \\ \div 5 \end{array} \right\}$$

5 右の図のような平行四辺形の対称^{たいしょう}の中心の見つけ方を、次のように説明しました。



【説明】

平行四辺形の2本の対角線を引き、交わったところが対称の中心です。

この説明の理由となる性質を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の軸^{じく}と垂直^{すいちよく}に交わります。
- イ 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。
- ウ 対称の軸^{じく}と交わる点から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。
- エ 向かい合った辺の長さは等しくなっています。